

# Relief

[リリーフ]

## CONTENTS

- 小・中学生「いのち」の作文・俳句コンクール表彰式
- 2020年度AED訓練器等助成 助成先決定
- 2020年度公募助成 助成先決定
- 2019年度公募助成 活動紹介
- 2019年度AED訓練器等助成 活動紹介
- 2019年度安全セミナー
- 日本災害医学会に出展
- 今後の催し等のお知らせ

2020  
APRIL  
Vol. 39



# 設立10年事業「小・中学生『いのち』の作文・俳句コンクール」表彰式を開催

「いのち」を大切に作る社会づくりに少しでもつながればとの思いを込め、近畿2府4県の小・中学生を対象に、「いのち」をテーマにした作文・俳句コンクールを実施しました。作文4,614作品、俳句22,675句という、大変多くの「いのち」に向き合った作品が寄せられました。選考委員による選考の結果、作文・俳句あわせて330名の入選が決定し、2月2日に表彰式を開催しました。



特選受賞者の皆さま



準特選受賞者の皆さま

## 表彰式の様子

「いづみホール」(大阪市)にて開催し、受賞者やご家族など、約330名の方にご出席いただきました。お祝いの言葉とともに受賞者一人ひとりに表彰状が手渡され、特選受賞者から受賞の喜びの言葉が述べられました。また、選考委員長の齋藤孝氏(明治大学教授)により「心のカタチ 言葉のチカラ」と題した講演が行われたほか、フルート、オーボエ、ピアノによる三重奏が行われました。



表彰状贈呈



演奏 佐々木 志乃さん(左)、福原 彩乃さん(中央)、小林 千晃さん(右)

## 作文部門：特選受賞者のコメント



小学生1・2年生

京都府  
木津川市立城山台小学校  
1年

森本 琉奈さん

<受賞コメント>

私は今まで「いのち」という言葉は知っていたけど、「いのち」ってどこにあるのだろうと思っていました。でも、この作文を書いて「いのち」って「こころ」の中にあるのだと思いました。「じいじ」が病気になってすごく心配しました。友だちの所に「赤ちゃん」が生まれて、とてもうれしかったです。「じいじ」も「赤ちゃん」もどちらも大切な「いのち」だと作文に書きました。「いのち」が大切だと教えてくれた「じいじ」と「赤ちゃん」に「ありがとう」と伝えたいです。



小学生3・4年生

兵庫県  
姫路市立東小学校  
4年

井手尾 遼さん

<受賞コメント>

僕がこの作文に書いたおばあちゃんは、2週間前に天国へ旅立ちました。今日は、きっと天国から僕のことを見てくれていると思います。ありがとうございました。



小学生5・6年生

大阪府  
池田市立石橋南小学校  
5年

浪瀬 蓉さん

<受賞コメント>

僕は、5年生の自主学習で「つばめ」の子育て観察をしました。4月から3ヶ月間、毎日、日記をつけました。写真も1,000枚以上撮りました。ヒナは何もなく無事に巣立つものと思っていましたが、結果は全然違いました。そこから、人間に生まれてきた僕はどれだけ、お父さん、お母さんや周りの人たちに大切に育ててもらっているのかを、知ることができました。自然の厳しさを知ることが出来て「いのち」は、とても大切にしなければならぬということを感じました。この観察に協力してくれたみなさんに感謝しています。そして、このような素晴らしい賞をいただいたことがすごく嬉しく、「つばめ」は、やっぱり幸せを運ぶ鳥だと思います。



中学生

兵庫県  
私立滝川第二中学校  
1年

高野 泰一さん

<受賞コメント>

このたびは、僕の作文を選んでいただきまして、ありがとうございます。今回の作文は、僕一人では絶対に書けない作文でした。副賞は、家族みんなで使います。今日は、「いい千晴日和」で、この式を迎えることができてよかったです。本日はありがとうございます。

## 俳句部門：特選受賞者のコメント



小学生1・2年生

奈良県 王寺町立王寺南小学校 1年  
山崎 楓真さん

<受賞コメント>

嬉しいです。



小学生3・4年生

兵庫県 神戸市立高羽小学校 4年  
山崎 穂果さん

<受賞コメント>

私の家は、神戸市の六甲山の近くにあります。そこは、いっぱいセミがいてセミの声がいつも聞こえています。そのセミの気持ちになって詠んでみました。



小学生5・6年生

大阪府 大阪市立北田辺小学校 5年  
中田 千尋さん

<受賞コメント>

特選をいただき、おどろいています。休みの取りにくいお父さんに、休みの日にプールに連れて行ってもらったことを詠みました。今日は、ありがとうございます。

作文部門：講評

皆さんが一生懸命、書いて下さった作文は、しっかりと読ませて頂き、選考委員全員で十分に話し合って作品を選ばせて頂きました。どの作文も深く心に響く素晴らしいものでした。実際に体験したことを書いた場面では、その時の出来事がありありと目に浮かびました。家族や身近な方との会話の場面を書いた作文では、皆さんの顔だけではなく、相手の方の顔まで見えてくるようでした。自分の考えをまとめた作文では、黙って読んでいるつもりが「あ～確かに。」と、自然とつぶやいていました。皆さんの言葉・文章は大人の心を動かす力を持っています。これからも皆さんの考えや想いを、作文を通して表現して下さいをお願いします。本日はおめでとうございます。そして、ありがとうございました。



坂下裕子選考委員

講演の様子

演題：「心のカタチ 言葉のチカラ」

齋藤 孝氏 (最終選考委員長、明治大学教授)

「あなたにとってのいのち」という難しいテーマで作文や俳句を作っていただきました。大変素晴らしい表現で「いのち」を表現していただいたと思います。



「心」には形がありませんが、表現することにより他の人へ伝えることができ、伝えることにより分かり合うことができるわけです。先ほど素晴らしい演奏がありました。演奏という表現の手段により人に伝えることができ、人がそれぞれ持つ感性という心に訴えることになるわけです。作文も表現、俳句も表現、音楽も表現、スポーツも表現だと思います。今回のテーマに関して言えば、全ての「言葉」が「いのち」の表現になり、それにより「心」を伝えることになるのです。

これからは表現力が非常に重要になります。表現力を発揮するためには「勇気」が必要です。人前で話すにも勇気が必要ですが、場数が大事であるように、「勇気」には慣れの要素もあります。「表現」もまた慣れであり、表現することを繰り返すことにより、何かモヤッとしたものが頭の中で形作られ、次第に人に伝えることが出来るように形が整ってきます。そして言葉によって人と分かり合えるのです。これが言葉のチカラだと思います。

私が書いた本がきっかけで、言葉に関するNHKの番組を長らく監修しており、番組では言葉を通して「いのち」が沸き上がることを等々伝えていきます。

また、これまで生きてきた人々がそれぞれ言葉にしたからこそ、今に生きる私たちもその言葉を通して心が持てるのです。「心」は初めからはありません。

犬を飼っている人も多いと思います。犬にも心があり、その心は恐らく人より豊かだと思います。喜怒哀楽を犬はどんどん表に出し

俳句部門：講評

俳句って「季語」があります。実は1年で1番寒い「寒」という時期が今日で終わります。今年は暖かい冬でしたので、あまり「寒」という感じがなかった。明日は「節分」ですね。豆まきですね。そして、明後日から暦の上では「春」になります。季語の中でもとても素敵な言葉です。

俳句って「五・七・五」なので、つくる時難しくなかったと思います。「フッ」と出来たので、自分が表彰されたことに戸惑っているかも知れません。でも言葉ってほしい、そういうもんなんです。皆さんから出た言葉を、誰かが受け止めて、それを色んな意味に解釈してくれたり、広げたりしてくれます。皆さんは、自分が思っている以上に素敵な俳句を作りました。なにしろ、約23,000句の中から選ばれた、160句です。こういう会でよく言いますが、「自慢して下さい」と。おめでとうございます。



坪内総典選考副委員長

ていますよね。一方で人間には言葉があります。言葉を通じて感情を細やかに他人に伝える。それによって過去からの歴史を今の私たちが守っているのです。例えば松尾芭蕉。「梅若葉 丸子の宿の ところろ汁」という句を残しています。石碑に書くとも何代にも亘って伝えることが出来ます。何百年経っても、芭蕉はここでところろを食べ、美味しいと言ったのだらうなということが伝わるわけです。

さて「勇気」の話に戻します。勇気の生まれる場所はどこだと思いますか。私はおへその下、臍下丹田であると信じています。そこから勇気が出て言葉になる。この部分がかつて「はら」と読みました。肚を決める、肚を割って話す、それらの言葉の由来の場所でもあります。

儒教で最も基本的な三つの徳として「勇」の他に、「知」「仁」があるとされています。「知」は前頭葉、額の奥で生まれます。「仁」は優しさや誠実さのことで、生まれるところは心臓です。皆さんも今後様々な場面に遭遇すると思います。そのとき、自分には判断力が足りないのか、真心が足りないのか等、この東洋の教えである「知仁勇」という言葉に照らし、生まれる場所を順に指しながらチェックしてみてください。

知的な話をもう一つ、マルティン・ハイデッガーの『存在と時間』という話をします。私たちは時間や死は意識出来ます。人間の存在は死によって終わるため、終わりを意識しながら今を生きているということ、より本質的、本格的な生き方が出来るということです。そういう意味で、死を先駆けて覚悟すること、戦国の武士は正にそうですが、これを先駆的覚悟性とハイデッガーは言ったわけです。日本でも「死生観」という、死ぬと生きるに対する考え方があり、死を意識すると生きることが輝くと言われていました。

いかがでしょうか。私の言葉を一生懸命理解することも大事ですが、皆さんがそれを伝えることも同じくらい大事なのです。この話を是非、家族の方にして下さい。伝えることで分かり合うことができるのです。

皆さんと出会っているこの瞬間を祝祭にして生きるということ、「出会いの時を祝祭に」。この、「私にとっての『いのち』」と言える言葉を紹介して、私の講演を終わりといたします。

作文部門：受賞者一覧

★特選 (4名)

京都府	木津川市立城山台小学校	小1	森本 琉奈
兵庫県	姫路市立東小学校	小4	井手尾 遼
大阪府	池田市立石橋南小学校	小5	浪瀬 蓉
兵庫県	私立滝川第二中学校	中1	高野 泰一

★準特選 (9名)

大阪府	私立賢明学院小学校	小2	山根 葵緒
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	野中 一杜
滋賀県	栗東市立治田西小学校	小3	福山 叶翔
京都府	私立京都聖母学院小学校	小3	仁井 奏多
兵庫県	神戸市立成徳小学校	小6	土橋 にこ
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小6	島川 慶仁
和歌山県	和歌山大学教育学部附属中学校	中1	狗巻 友祐
和歌山県	岩出市立岩出中学校	中2	鎌田 琉夏
兵庫県	私立滝川第二中学校	中3	大岩 あおば

★優秀賞 (46名)

兵庫県	神戸市立南落合小学校	小1	石橋 夢
兵庫県	私立仁川学院小学校	小1	野村 優衣
兵庫県	豊岡市立五荘小学校	小2	保田 柚乃
大阪府	大阪市立出来島小学校	小3	姥原 瑛士
兵庫県	私立甲南小学校	小3	井野上 碧泉
大阪府	私立大阪信愛学院小学校	小4	清原 ちさと
大阪府	箕面市立東小学校	小4	須田 恵多
兵庫県	神戸市立南落合小学校	小4	相原 芽生
兵庫県	姫路市立東小学校	小4	福田 愛花
兵庫県	姫路市立東小学校	小4	宮岡 颯太
兵庫県	小野市立河合小学校	小4	山中 湊太
兵庫県	たつの市立小宅小学校	小4	浦川 凌大
兵庫県	たつの市立小宅小学校	小4	川口 優
滋賀県	彦根市立城東小学校	小5	山田 亜美
滋賀県	近江八幡市立安土小学校	小5	木枝 陽菜子
大阪府	池田市立石橋南小学校	小5	白井 凛太郎
大阪府	東大阪市立成和小学校	小5	岡 奈那
兵庫県	神戸市立東町小学校	小5	岸本 成美
兵庫県	神戸市立東町小学校	小5	小出 万尋
兵庫県	神戸市立東町小学校	小5	高谷 和
兵庫県	神戸市立東町小学校	小5	森垣 蒼佳
兵庫県	姫路市立大津小学校	小5	島津 天華
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小5	難賀 祐丞
京都府	京都市立紫竹小学校	小6	西浦 心春
大阪府	私立アサンプション国際小学校	小6	川崎 知怜
兵庫県	神戸市立成徳小学校	小6	尾川 琳音
兵庫県	神戸市立成徳小学校	小6	佐藤 妃夏
兵庫県	神戸市立成徳小学校	小6	高橋 りお
兵庫県	神戸市立成徳小学校	小6	指野 詩
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小6	高橋 諒丞
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小6	矢田 恵士
滋賀県	守山市立守山中学校	中1	谷口 結帆
大阪府	大阪市立長吉西中学校	中1	西宮 綾乃
兵庫県	私立滝川第二中学校	中1	中村 桜雪
兵庫県	私立滝川第二中学校	中1	堀田 鞠馨
兵庫県	尼崎市立小園中学校	中1	田中 梓彩
兵庫県	尼崎市立小園中学校	中1	旗手 麻衣
大阪府	私立関西学院千里国際中等部	中2	村上 スミス 海
兵庫県	私立滝川第二中学校	中2	尾形 彩葉
兵庫県	私立滝川第二中学校	中2	坂西 珠季
兵庫県	神戸市立本山南中学校	中2	法田 芹羽
奈良県	王寺町立王寺中学校	中2	中谷 真優
滋賀県	私立近江兄弟社中学校	中3	鹿野 藍流
滋賀県	私立近江兄弟社中学校	中3	小林 愛果
京都府	京都市立双ヶ丘中学校	中3	山本 奏世乃
大阪府	吹田市立第一中学校	中3	武田 愛未

★優良賞 (110名)

★学校賞 (14校)

大阪府	大阪市立生野小学校	大阪府	大阪市立墨江丘中学校
大阪府	河内長野市立加賀田小学校	大阪府	大阪市立長吉西中学校
兵庫県	神戸市立成徳小学校	兵庫県	神戸市立本山南中学校
兵庫県	神戸市立東町小学校	兵庫県	尼崎市立小園中学校
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	兵庫県	尼崎市立中央中学校
滋賀県	竜王町立竜王中学校	兵庫県	川西市立緑台中学校
京都府	京都市立上京中学校	兵庫県	私立滝川第二中学校

俳句部門：受賞者一覧

★特選 (4名)

奈良県	王寺町立王寺南小学校	小1	山崎 楓真
兵庫県	神戸市立高羽小学校	小4	山崎 穂果
大阪府	大阪市立北田辺小学校	小5	中田 千尋
兵庫県	三田市立狭間中学校	中3	川野 里帆

★準特選 (9名)

京都府	八幡市立橋本小学校	小2	長谷川 み月
兵庫県	神戸市立美賀多台小学校	小2	岩館 蒼生
滋賀県	長浜市立長浜北小学校	小3	塩田 心結
大阪府	大阪市立鷺洲小学校	小3	廣田 咲羽
奈良県	大和高田市立陵西小学校	小5	森村 琉世
大阪府	藤井寺市立藤井寺西小学校	小6	小野 隆司
大阪府	豊中市立第五中学校	中1	米塚 隼人
滋賀県	守山市立守山南中学校	中2	壺井 碩太
和歌山県	岩出市立岩出中学校	中2	前北 奈津

★優秀賞 (44名)

滋賀県	大津市立志賀小学校	小1	多和田 叡
大阪府	大阪市立新森小路小学校	小1	市来 遙真
大阪府	藤井寺市立藤井寺西小学校	小1	築野 莉奈
滋賀県	大津市立仰木の里東小学校	小2	山下 七海
滋賀県	大津市立仰木小学校	小3	上阪 頼大
滋賀県	大津市立雄琴小学校	小3	清水 智吏
滋賀県	大津市立志賀小学校	小3	遠藤 直規
大阪府	大阪教育大学附属平野小学校	小3	森本 圭亮
大阪府	大阪市立鷹合小学校	小3	平松 達真
大阪府	大阪市立島屋小学校	小3	菊地 公美香
大阪府	私立四天王寺小学校	小3	大崎 凜子
兵庫県	神戸市立高羽小学校	小3	川崎 俊哉
京都府	京都市立下京涉成小学校	小4	今田 翔聖
大阪府	堺市立英彰小学校	小4	紀 ことみ
兵庫県	神戸市立枝吉小学校	小4	中岡 陸
兵庫県	神戸市立六甲小学校	小4	古川 美結
大阪府	大阪市立城東小学校	小5	藤原 柚輝
大阪府	門真市立門真小学校	小5	谷 悠帆
大阪府	門真市立門真小学校	小5	三原 綺音
兵庫県	神戸市立南落合小学校	小5	青木 陸輝
兵庫県	姫路市立荒川小学校	小5	森園 怜
奈良県	王寺町立王寺南小学校	小5	野間 琉花
奈良県	東吉野村立東吉野小学校	小5	威徳 琴音
京都府	京都教育大学附属京都小中学校	小6	長田 直理
大阪府	大阪市立鷺洲小学校	小6	宇野 栄一郎
兵庫県	神戸市立高羽小学校	小6	川崎 結生
兵庫県	伊丹市立伊丹小学校	小6	牧尾 悠真
兵庫県	伊丹市立池尻小学校	小6	秋田 百々葉
兵庫県	神戸市立越知谷小学校	小6	築山 あかり
滋賀県	守山市立守山南中学校	中1	勝間 亮翔
大阪府	茨木市立太田中学校	中1	小柳 夏姫
兵庫県	尼崎市立南武庫之荘中学校	中1	中村 彩乃
兵庫県	丹波市立氷上中学校	中1	竹内 橋
滋賀県	守山市立守山南中学校	中2	小谷 史
滋賀県	栗東市立栗東中学校	中2	飯塚 咲真
大阪府	豊中市立第五中学校	中2	内田 海咲
和歌山県	岩出市立岩出中学校	中2	小西 乃々花
滋賀県	長浜市立虎姫中学校	中3	尚永 千歩
滋賀県	長浜市立虎姫中学校	中3	森 ななみ
滋賀県	野洲市立主中中学校	中3	大橋 幸太
京都府	私立東山中学校	中3	奥村 理喜
大阪府	堺市立大浜中学校	中3	高山 彩海
兵庫県	神戸市立友が丘中学校	中3	石元 愛海
和歌山県	海南市立第三中学校	中3	児島 隆之介

★優良賞 (104名)

★学校賞 (7校)

滋賀県	守山市立守山南中学校
滋賀県	栗東市立栗東中学校
京都府	京田辺市立培良中学校
京都府	私立東山中学校
大阪府	大阪市立三国中学校
大阪府	豊中市立第五中学校
和歌山県	岩出市立岩出中学校

学年は2020年2月現在です (敬称略)

作文部門：特選作品

《中学生》  
私立滝川第二中学校 一年 高野 泰一

「命って何だと思う？」

「命って何だと思う？」

小学校の時、一年に一回はこう訊かれる。その度に僕は考えるが、どれも何かちがうなとなって、答えが出ないのだ。そりゃそうだ。分かるはずがない。命について知るにはまず生きるとは何かを考えなければいけない。そして、生きることを知るには死について知らないといけない。つまり命について理解できるのは死後。そう考えていたからだ。

しかし、二〇一六年三月三十一日。この考えに大きな影響を与える出来事が起こった。僕の妹が亡くなったことだ。家族は皆、悲しみに暮れ、各々命について真剣に考えた。少し妹の話をしよう。

妹は二〇一五年、一月十七日、偶然なのだろうか、阪神淡路大震災からちょうど二十年の日に生まれた。家族全員の立会出産で、僕もそこにいた。生まれてきた妹はあまりにも元気がなく、数日後に医者にかかった。「ブラダーウィリー症候群」返ってきた言葉はこれだった。知らされて数日の心情を母は、「障害を受け入れる現実の辛さは、言葉では言い表せないほど大きかったけれど、助産院のスタッフや家族、この子をかわいがる兄二人にやされ、そして助けられた。」と記している。この子の名は、「ちはる」。千の晴れ、「千晴」だ。いつでもはればれとしてほしいという意味と、兄二人の名前、たいちとはるきと共に生きてほしいという意味が込められている。とても良い名だ。大切にしたい。

そして月日は流れ三月下旬。僕は、千晴が気を失ったと聞き、病院へとんでいった。千晴はベットで体いろいろなチューブをつながれて寝ていた。そして、もう脳死しているという。僕は胸がいつぱいになった。昨日まで一緒に遊んでいたのだから。そして三月三十一日。雨が降っていた。千晴はもう助からない。これ以上の薬の投与は体への負担が大きすぎる。だから、チューブや機械を全て外し、最期を見送ることにした。シャワーを浴び、服を着せられて、また家族のもとに戻ってきた千晴。この子を見ると、家族五人の日常がよみがえってきた。その時間は長いようで短く、また短いようで長く僕は感じた。こうした中で、千晴は命を引きとった。その時僕は後悔した。何に後悔したのかは、今でも分からない。しかし、そんな僕とは対照的に、千晴は笑っているように見えた。その後僕とお父さんは何の目的もなく外へ出た。外は雨が止んで、雲から太陽が顔を出している。

今、千晴は我が家の天気の様になっている。晴れなら「千晴が笑っている。」雨なら「千晴が泣いている。」曇りなら「千晴が寝ている。」という。命については今でもさっぱり分からない。だが、あの日から僕は生きる意味について考えるようになった。答えを出すにはもう少し時間がかかりそうだ。

《小学生一・二年生》  
木津川市立城山台小学校 一年 森本 琉奈

「じいじとあかちゃん」

だいたいなじいじがきゅうにふつうにおはなしができなくなってしまう。そしてすぐにびょういんにいったら、のうこうそくといわれてしばらくはういんになりなりました。おかあさんはじいじのことがしんばいで、なんかいとおみまにいつていました。

わたしも、いつもいっしょにとらんぶやぼうずめくりをしたり、ごはんをたべたりしているじいじがしんばいになりました。でもぶじにたいいんしてげんきになったのでいのちがぶじでよかったです。

8がつにともだちのおうちにあかちゃんがいきました。かおやて、あしがちいさくて、かわいかったです。あかいかおでいっばいあーあーとなっていました。おかあさんは「あたらしいいのちがうまれたね。」といいました。

じいじのびょうきはもしかしたらいのちがなくなっていたかもしれないよ、とおかあさんはいいました。あかちゃんはあたらしいいのち、じいじはたすかったいいのち。

わたしはいままでのちってよくわかりませんでした。でもおかあさんから、「いのちがあることはあたりまえじゃないんだよ。いきたくても、なくなってしまういのちもあるんだよ。」とききました。このとき、いのちはたいせつなんだとわかりました。わたしはこれからのいのちがあることにかんしゃして、まいにちべんきょうをしたり、おともだちとなかよくしようとおもいます。そうおしえてくれたじいじとあかちゃんにありがとうをつたえたいです。



にじいろくわがた  
ぼくといっしよでよくうごく

《小学生一・二年生》王寺町立王寺南小学校 一年 山崎 楓真

ぼくはここ

気づいてほしいせみが鳴く

《小学生三・四年生》神戸市立高羽小学校 四年 山崎 穂果

父とゆく

自転車にのって市民プール

《小学生五・六年生》大阪市立北田辺小学校 五年 中田 千尋

私もね

若葉のように水がいる

《中学生》三田市立狭間中学校 三年 川野 里帆

《小学生三・四年生》  
姫路市立東小学校 四年 井手尾 遼

「ぼくのおばあちゃん」

ぼくが、この世の中に生まれてきたのは、おばあちゃんやおじいちゃんが生まれてきてくれたおかげなのです。

大むかしからつづく命をつないで、それをぼくたちが引きついでいるのです。

けれど、おばあちゃんは、きよ年、とつ然のうの病気でたおれてしまいました。大きな手じゅつをして、なんとか命は助かったのですが、残念ながら目を開けることも話をすることも、体動かすことも、自分でこきゅうもできないようになってしまいました。

ずっと、ねむったままなのです。おばあちゃんが元気だったころは、よく会いに行っていたさん遊んでくれたのに、急に変わりはててしまいました。

お父さんもお母さんもぼくたちも、そんなすがたのおばあちゃんの事を思うと悲しくて毎日、なみだが出て止まりませんでした。

でも、おばあちゃんは、がんばって生きてくれています。病院の先生やかんごさんたちが、いつも見守ってくれています。

お見まいに行くと、あいかわらずいつもねむったままのおばあちゃんですが、ふと目をさまして、おだやかな顔をしています。のびたかみの毛をきれいにカットしてもらった時は、とてもかわいいおばあちゃんでした。

お母さんは、なやみ事があるとおばあちゃんにあたたい手をにぎりながら、目を見つめて心と心で会話をするのだそうです。なやみを聞いてもらったおかしに、おばあちゃんの足がマッサージしてあげると、気持ちがいいのか、時どき体がビクッと動くそうです。

まだまだ若いおばあちゃんは、毎日一生けん命生きてくれています。本当はぼくと遊んでほしいけれど、一日でも長くぼくのおばあちゃんにあたたかさを感じてほしいのです。がんばってね、おばあちゃん。

《小学生五・六年生》  
池田市立石橋南小学校 五年 浪瀬 蓉

「ツバメから学んだ命」

今年、ぼくはおじいちゃんの家近くにあるツバメの巣を観察して、日記を書きました。期間は四月二十五日から七月二十二日までの八十九日間でした。ぼくは観察をしてみても、ツバメは順調に卵からヒナに育ち、巣から旅立っていくものだと思っていました。でも観察結果は全然違いました。卵は合計二回産まれました。一回目は卵が六つ産まれ、無事に六羽ともヒナになりました。でもヒナが産まれて五日目に一羽いなくなりました。おぼくは何回も数えてみましたがやっぱり一羽いなくなっていました。お母さんにその事を言うと、「巣から落ちてしまっ、いなくなりました。お母さん。」と言われました。それでも五羽は元気にエサを親ツバメからもらっていたので観察を続けました。ヒナはどんどん大きくなって、親ツバメのすがたになってきました。ぼくが学校に行っている間は、お母さんや近所のお店のおじいさんたちがツバメの様子を見ていてくれました。でもあと三日目もあれば巣立つと思っていたやさきを観察三十八日目の朝、五羽のヒナはカラスにおそわれてしまいました。巣の周りの地面には大量のヒナの羽が落ちていました。

そしてぼくは近くの公園で一羽のツバメのヒナの死体を見つけてしまいました。そのすがたを見てすごく悲しくて涙ができました。家に戻りお母さんにそのことを伝えました。お母さんは、「残念だったね。でも自然の世界ではよくある事だよ。カラスも生きているし、カラスもヒナを育てるためにエサが必要なんだよ。」と自然のきびしさを教えてくれました。それを聞いてもやっぱりぼくはとて悲しかったので観察をやめようと思いましたが、でもそれから三日後同じ巣にまたツバメがやって来ました。一生けん命巣を作り直してまた卵を産む準備をしていたので、ぼくは観察を続けようと思えました。また卵が産まれ、二十四日目にまたヒナが産まれました。

今度は五羽のヒナが産まれました。しかし一回目と同じように産まれてから七日目にまた一羽のヒナが巣から落ちてしまいました。近くの店は順調にヒナは育っていき二回目は四羽のヒナ全部が巣立つ事が出来ました。ぼくはこの期間をツバメと過ごしてきて、自然のきびしさを体で感じる事が出来ました。産まれたヒナが全て無事に親になることが出来るわけではなく、ヒナの時から、兄弟でエサをより多くもらうため知えを使って、そして外で生きるとおそれないという幸運があつて親鳥になるのだと知りました。そして自然界で生きると動物にとっても同じ事だとお母さんから教えてもらいました。この観察から人間に産まれたぼくがお父さんやお母さん、家族のみんなから大切に生まれてもらっているか身にしみて知ることができました。だから、これからも一日一日を生けん命生きて行くことと思います。

# 2020年度AED訓練器等助成事業の助成先が決定

当財団では、救命処置の普及啓発活動に積極的に取り組む団体を応援するため、公募によりAEDトレーナーや訓練用人形を提供するAED訓練器等助成事業を実施しています。2020年度は、以下のとおり12団体に提供しました。

## 団体名 [12団体] (50音順)

特定非営利活動法人きぼうの会 (和歌山県西牟婁郡上富田町)	日本防災士会滋賀県防災士会支部「救命 With」チーム (滋賀県大津市)
coicoi 実行委員会 (大阪府松原市)	Human Relations SHIN (兵庫県尼崎市)
認定 NPO 法人子どものみらい尼崎 (兵庫県尼崎市)	社会福祉法人芳友にこにこハウス医療福祉センター (神戸市北区)
社会福祉法人俊英館福祉事業会 (大阪市鶴見区)	水の事故から子どもを守ろうプロジェクト (大阪市天王寺区)
大東市立住道南小学校 (大阪府大東市)	みんなで減災し隊! (兵庫県丹波篠山市)
日本救急医療協会 (大阪府東大阪市)	大和郡山市・城ヶ丘自治会・自主防災会 (奈良県大和郡山市)

## AED訓練器等助成の活動紹介

2020年1月から3月にかけて、各地で開催された救命処置の普及啓発のための講習会を訪問しました。各地で取り組む、助成先団体の活動の様態をご紹介します。

### 1月12日(日) 荒田地区防災福祉コミュニティ



神戸市兵庫区の荒田地区地域福祉センターにて「新春ぜんざい大会&お楽しみ会」が開催され、地域住民を対象に一次救命処置の重要性を知ってもらい、体験していただくためのブース出展が行われました。地域の子供からお年寄まで多くの方が参加され、大変活気がありました。

### 1月28日(火) 広陵町防災士ネットワーク



奈良県北葛城郡広陵町の三笠産業株式会社にて、従業員を対象とした普通救命講習会が開催されました。指導は広陵町防災士ネットワークの方々と広陵消防署職員が行い、3時間の講習の最後には場面状況に応じたデモンストレーションが行われるなど、参加者に興味を持ってもらえるよう工夫されていました。

### 2月9日(日) 救急・災害医療&防災教育研究会



大阪市淀川区の新大阪ストロングビルにて救命処置のインストラクターの資格を持つ薬剤師を対象とした講習会が開催されました。「いまさら聞けない、BLSの基礎」と題し、現役の消防署職員が講師となり、参加者が指導員としてスキルアップできるよう実践的な講習が行われていました。

### 2月14日(金) 大阪IJ



高槻市立芝谷中学校にて2年生約220名を対象に一次救命処置の講習会である「いのちの授業」が開催されました。経験豊富な大阪IJの方々と高槻市北消防署職員によるわかりやすい確かな講習が行われました。同校では毎年2年生を対象に講習を行っているとのこと、生徒の皆さんは熱心に取り組んでいました。

## 第25回日本災害医学会総会・学術集会に出展

2月20日~22日の3日間、アリストンホテル神戸にて「第25回日本災害医学会総会・学術集会」が開催されました。期間中、国内外より災害医療関係者約2,400名が参加し、災害医療や防災対策などの最新動向について、講演やパネルディスカッションなどが実施されました。当財団も展示ブースに出展し、取り組みの紹介を行いました。



参加者に説明している様子



当財団ブース

#### 財団ブース 訪問者のコメント

#### 福島県からの参加者

子どもたちを対象に普通救命講習会を開催することは有意義であり、支援があることは良いことだ。

#### ノルウェーからの参加者

列車事故を契機に財団が設立されたことの経緯を大切にして、今後も継続的に活動を行っていただきたい。

# 2020年度の公募助成先68件が決定

2020年度の公募助成は68件の団体や研究者の方が助成先として選ばれました。  
特別枠として岡山、広島で活動される団体からも多くの申請があり、採択件数も増えました。  
採択された助成先の皆様をご紹介します。

## 【活動助成】事故、災害や不測の事態に対する備えに関する活動、発生後の心身のケアに関する活動

テーマ	団体名 (50音順)
『要支援者理解を促すチャート図』と『障害者の避難物資リスト作りWS』等の普及活動	生きる力を育む研究会
「いじめから子どもを守る読み語り」授業	いじめから子供を守るネットワーク和歌山
地球温暖化と防災対策	伊都・橋本地球温暖化対策協議会
グリーンケア・スピリチュアルケア提供者を対象としたセルフケア講座	特定非営利活動法人 いのちのケアネットワーク
大災害に対する地域防災・要援護者支援ネットワークの構築	宇治市平尾台二丁目自治会・平尾台自主防災組織会
防災フォーラム in おおつ 2020「活断層地震 ラジオはあなたの命を守る」	特定非営利活動法人 HCC グループ
関西アレルギー災害ネットワーク会議	LFA 食物アレルギーと共に生きる会
教職員や地域住民の救急医療・防災力向上を目的とするいのちのラリーと学びブース	大阪IJ いのちの授業
リハビリテーション専門職を目指す学生への防災・災害医療の教育	大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会
障がい者が行う心肺蘇生と応急手当の普及	特定非営利活動法人 大阪ライフサポート協会
大阪 YMCA ウォーターセーフティキャンペーン	公益財団法人 大阪 YMCA
水際レスキュー安全プロジェクト“命を守る行動”	特定非営利活動法人 オーシャンゲート ジャパン
グリーンケア	かなしみぼすと
かんまきサバイバルラボ (子どもたちへの防災教育訓練を通じて、地域の自主防災力向上に取り組む)	かんまき子どもサバイバルキャンプ実行委員会
社会的孤立から考える地域防災力向上イベントと公助との連携強化訓練事業	特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝
キッズ防災検定	特定非営利活動法人 検定協議会
水害多発地域における子育て層による自律的な防災活動	公益財団法人 公善地域再生センター
ドローンをを用いた地域防災訓練の検証	NPO 法人 次世代エネルギー研究所
災害時における鍼灸・マッサージ活動のための支援情報共有ツールの作製	特定非営利活動法人 鍼灸地域支援ネット
未来に繋がる防災教育実践コミュニティづくり	NPO 法人 日本教育再興連盟
たかつき川キッズ調査隊シーズン2 ～川遊び安全マップを作ろう！～	特定非営利活動法人 ノート
はすの会 東大阪・神戸	はすの会 東大阪・神戸
家具固定と震災後のトイレ問題を重点にした防災普及と防災を支える新たなコミュニティの形成	特定非営利活動法人 働く者のメンタルヘルス相談室
一次救命処置たし算プロジェクト	B-NET @ SAIDAIJI
障害理解促進事業「盲導犬を通して学ぶ・ふれあう」	特定非営利活動法人 人・モノ・支援センター
ピリブメントケアチーム「ピリブ」	ピリブメントケアチーム「ピリブ」
防災力向上！地域防災演劇ワークショップ事業	一般社団法人 フリンジシアターアソシエーション
JR 福知山線列車事故 被災者支援募金イベント フレンズかわにし2020	フレンズかわにし実行委員会
流産・死産経験者で作るポコズママの会	ポコズママの会 関西
阪神淡路大震災 1.17 は忘れない？防災減災まちキャラパーク2020	まちキャラパーク実行委員会
性・生教育プロジェクト	特定非営利活動法人 ママふぁん関西
私立高等学校向け防災計画策定及び見直し支援講習会の実施	特定非営利活動法人 雷嵐対策推進機構
臨時災害放送局開設訓練を通じた災害時の地域情報共有基盤の形成	和歌山県情報化推進協議会
災害時におけるペットの同行避難「ペットと一緒に避難したいんですが？」	和歌山動物愛護推進実行委員会

[34件]

## 【活動助成 (特別枠)】東日本大震災、平成26年広島市土砂災害、平成30年7月豪雨 (西日本豪雨) に関する被災地・被災者支援活動

テーマ	団体名 (50音順)
輝くイベントで、子どもの聞き取り調査と、こころケア	アジア子ども基金
西日本豪雨災害で被災した写真をお預かりし泥などを洗浄・除菌しお返しする活動	あらいぐま大阪
被災者に寄り添う「いろどりアートサロン」	特定非営利活動法人 育々会 ※
笑顔つながるささやまステイ	笑顔つながるささやまステイ実行委員会
真備町岡田地区の復興・防災まちづくり事業	岡田地区まちづくり推進協議会 ※
心の二次災害予防対策	特定非営利活動法人 オリーブの家 ※
西日本豪雨被災地及び東北被災地ふれあい語り部コンサート	NPO 法人 語り部おもちゃ箱音楽隊
震災から 10 年、節目の東北作業所応援市 2021	ガリレオクラブインターナショナル
真備町川辺地区復興・復興に向けたまちづくり事業	川辺地区まちづくり推進協議会 ※
東日本大震災と大阪北部地震の被災地から元気を発信！親善野球	がんばろう！つばさネットワーク
真備町呉妹地区復興に向けた住民きずな事業	呉妹地区まちづくり推進協議会 ※
一般社団法人 こどもスマイルミーティング	一般社団法人 こどもスマイルミーティング ※
『双葉町応援隊 絆』復興に向けて	ゴンターズ高原スポーツ少年団
子どもたち集まれ！豪雨に負けない心を育てる！	災害で生活が変わった子供を支援する会 ※
真備町菌地区復興のための住民交流事業	菌地区まちづくり推進協議会 ※
平成30年7月豪雨倉敷真備地区の被災経験を生かした女性視点の災害セルフケアマニュアルづくり	一般社団法人データクレイドル ※
医療系学生による福島県内での学生災害ボランティア復興支援活動	NARA Will 奈良県立医科大学 学生災害ボランティアグループ
真備町二万地区における被災者との住民交流・防災まちづくり事業	二万地区まちづくり推進協議会 ※
真備町服部地区復興のための住民交流・防災まちづくり事業	服部地区まちづくり推進協議会 ※
倉敷市真備町の緊急救援活動及び、避難所・仮設への慰問ボランティアツアー その2	被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」
坂町における内発的復興の取組み推進活動	兵庫県立大学減災復興政策研究科災害支援チーム
びわこ☆1・2・3 キャンプ in 2020 夏	びわこ☆1・2・3 キャンプ実行委員会
東日本大震災石巻、南三陸支援及び岡山県倉敷真備支援	ボランティアグループ雑巾を縫う会
小学生とつくる地域の防災紙芝居プロジェクト	三入学区自主防災会連合会 ※
みわのわ 福島県双葉郡こどもサマーキャンプ	みわのわ
真備町箭田地区復興のための住民ふれあい事業	箭田地区まちづくり推進協議会 ※

※印は近畿2府4県以外に拠点がある団体

[26件]

## 【研究助成】事故、災害や不測の事態に対する備えや防止に関する研究、発生後の心身のケアに関する研究

テーマ	研究者名 (50音順・敬称略)
深層学習 (ディープラーニング) を活用したストレスチェックに基づく労働災害リスク予測モデルの開発	神戸大学保健管理センター / 医学研究科病態情報学准教授 (兼任) 井口 元三
被災者兼支援者のうつ / PTSD (外傷後ストレス障害) 予防介入実践者育成訓練プログラムの開発	四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センター教授 センター長 宇佐美 しおり
大都市圏における訪日外国人を対象とした災害情報発信システムの開発: SNS を活用した情報提供の倫理的・技術的課題の検討	兵庫県立大学地域ケア開発研究所 教授 梅田 麻希
メディカルコントロールの現状・課題・展望	公益財団法人全国市町村研修財団全国市町村国際文化研修所 客員教授 小西 敦
地域防災対策における人任せを誘発する要因の検討: 社会的規範に着目して	関西大学大学院 大学院生 博士課程後期課程 静岡 健人
転落事故低減を目的とした電子式歩行補助具による視覚障害者の安全な単独歩行への寄与の評価	公益社団法人 NEXT VISION 常務理事 仲泊 聡
事件・災害の未体験教員による「語り継ぎ」のジレンマと必要性・有効性の研究	奈良学園大学 教授 松井 典夫
災害時における外国人に対する食支援に関する研究	大阪府立大学 准教授 矢澤 彩香

[8件]

# 2019年度公募助成の活動紹介

2019年度公募助成団体の活動（イベント）が終了いたしました。  
寒い中、各地で行われた真摯な活動をご紹介します。



## 特定非営利活動法人 Salut

1月11日（土）  
くらしと災害フォーラム2019年度「他者としての日本人とわたし」

京都市にて「くらしと災害フォーラム」が開催され、福島県原発作業員の実態を世の中に伝えたフォトジャーナリストと南相馬市で精神医療を行う医師を迎えて講演が行われました。  
災害に対し、当事者性を持つことがいかに重要かを参加者に強く訴えており、考えさせられるフォーラムでした。



## 特定非営利活動法人 インターナショナル

1月12日（日）  
あなたの知らない非常食の世界 vol.2 自分にピッタリのレトルト食品が見つかる大試食会

神戸市にて、災害時の避難所や備蓄体制と、家庭で実践できる防災対策のひとつである備蓄の必要性について知っていただくためのイベントが開催されました。非常食を試食し、おいしさや作りやすさ等についての評価を行ったほか、非常食に限らず、保存期限の長いものでの代用などによる備蓄の大切さについて伝えていました。



## 特定非営利活動法人 鍼灸地域支援ネット

1月13日（月・祝）  
第8回京都府災害鍼灸マッサージコーディネーター研修

京都市にて、災害時の地域医療連携を深めることを目的に、鍼灸師を対象に研修会が開催されました。新潟県長岡市から医師を招き、過去の災害をふまえ、災害時に派遣される医療チームの重要性についての講義があったほか、災害時の避難所等での効果的なケア提供のための情報共有ツール作成の進捗状況の説明がありました。災害に備えようとする意識の高さを感じました。



## 若者活動サポートセンターあおぞら 〔平成26年広島市土砂災害、平成30年7月豪雨特別枠〕

1月18日（土） 西区お茶会サロン

広島市にて、平成26年広島市土砂災害、平成30年7月豪雨の被災者などが参加する、お茶会サロンが開催されました。  
このサロンは平成26年広島市土砂災害の発生を契機に始まり、5年に亘って続いており、手作りの昼食を食べ、楽器の演奏や歌を聞きながら近況を語り合う、貴重な癒やしの場になっていると感じました。



## NPO法人 語り部おもちゃ箱音楽隊〔東日本大震災特別枠〕

1月28日（火）  
2019年度活動報告コンサート

2019年度東日本大震災支援などの活動報告を兼ね、阪神淡路大震災の経験も踏まえた語りと音楽を融合させたコンサートが、伊丹市で開催されました。石巻市大川小学校での絵本朗読の紹介やシャンソンなどの歌を交えた震災スライド上映、防災ミニ講座が行われ、被災地支援に対する強い思いを感じました。



## 特定非営利活動法人 HCCグループ

2月9日（日）  
防災フォーラムin大津「活断層地震 ラジオはあなたの命を守る」

大津市にて、災害時のラジオの重要性や臨時災害放送局についての防災フォーラムが開催されました。NHKなどの放送局から講師を迎えての講演のほか、災害時の情報発信の仕組み等についてトークセッションが行われました。臨時災害放送局は、地域に密着した必要な情報を発信する役目があることを広く伝える意義深い内容でした。



## 和歌山県情報化推進協議会

2月11日（火・祝）  
FM放送機材を用いた臨時災害放送局設置及び運営訓練

和歌山県の広川町において、防災訓練の一つとして臨時災害放送局設置および運営に関わる訓練が実施されました。現役新聞記者の指導のもと、災害時に貴重な力となり得る地元高校生が、放送内容の原稿作成や読み上げを行いました。真剣に取り組んでいる高校生の姿が大変印象的でした。



## ひだまり応援団〔平成30年7月豪雨特別枠〕

2月21日（金）  
「かば☆うまさんがやってくる」コンサート

広島県三原市にて、豪雨災害後、慣れない環境で頑張っている被災地の子供や家族を励まそうと、「あそびうた」を考案しライブ活動をおこなっているユニット「かば☆うま」を迎え、ライブが開催されました。地域の幼稚園や保育所に通う子どもたちが参加し、子どもだけでなく大人も一緒に楽しめるイベントでした。



## のまはら

3月20日（金・祝）  
第4回災害支援キャンプ

学生、スタッフを含め14名が参加し、災害支援キャンプが開催されました。ドローンに関する法律を学ぶ講習やブロックを組み立てたかまどベンチ製作、食物アレルギーを考慮した炊き出し訓練が実施されました。地道な訓練、及び経験と知識が災害時の迅速な対応力になることを改めて感じました。

# 2019年度 安全セミナー

2月16日(日)、大阪工業大学常翔ホールにて2019年度安全セミナーを開催しました。

激甚化する自然災害(風水害)からいのちを守るためには、災害時防災気象情報や、国や自治体から発表される様々な避難情報等を正しく理解し、積極的に活用することに加え、地域の力や思いやりのところが大切です。

当日は気象解説者である片平敦氏を迎え、自然との向き合い方についてご講演いただきました。

その講演内容の一部をお届けします。

## いのちを守る「情報」と「ところ」

～あなたとあなたの大切な人を災害から守るために～

### 講師:片平 敦氏

気象予報士・防災士  
一般社団法人ADI災害研究所 理事  
株式会社ウェザーマップ専属気象予報士



### 最近の気象災害を振り返る

近年は非常に大きな気象災害が多く、2017年7月には、福岡県の朝倉市で大きな水害のあった九州北部豪雨がありました。2017年の台風21号では堺市の浅香駅が冠水し、翌年2018年7月に平成30年7月豪雨、いわゆる西日本豪雨がありました。9月には台風21号で関西は大変な被害が発生しました。台風の右側がより危険なのですが、そういう意味で台風21号は大阪にとって最悪のコースを辿りました。2019年9月には台風15号が千葉県に大停電をもたらし、台風19号では関東・甲信・東北地方の多くの地域で大河川の越水が起きました。

そして今年は…。何処に起きてもおかしくありませんので、皆さんにまず知ってほしいことは、災害は突然あなたのすぐそばから襲いかかる。そして、これを自分のことだと思ってほしいのです。

台風の進路予測は近づくほど精度が上がり、1日前にはほぼ間違いないという状況になります。会社レベルでは台風が来た場合には職場を休みにするとか、電車を運休にするとか、個人レベルではこのタイミングでこうしよう、ということをやめ決めておくことは非常に大切なことなのです。

皆さん、覚えてください。『先手を打ったら損はせずに』。川が溢れる直前のタイミングで暴風雨が吹いていたらもう逃げられないのです。情報を早目に受け取って、いかに先手を打って行動

するか。災害が起こる前に先手を打つというのが非常に大事となり、その際の鉄則として、「彼を知り己を知れば百戦殆(あやう)からず」という孫子の教えがあります。彼とは気象のことであり、己とは自らの住んでいる場所の地形や地域に内在するリスク等です。この2つを理解していれば戦いに勝つ、即ち、いのちを守ることが出来るというわけです。

### 彼を知る

気象を知るためには、まず情報の意味を知る必要があります。避難情報(避難勧告、避難指示)などは、逃げてくださいというふうに市町村が出すもので、大雨警報や土砂災害警戒情報などは、地域別の気象の状況をお知らせするために気象台が出す情報です。

最近、その避難情報や防災気象情報の警戒レベルが5段階に整理されました。レベル5が一番危なく、レベル1から順に危険度が上がっていきます。レベル5で逃げたらいいの?と思われそうですが、レベル5では、既に災害が起きています。手遅れです。特に皆さんに覚えてほしいのは、レベル4と3。レベル4は、その地区は災害が差し迫っているので安全な場所に退避してくださいというレベルで、レベル3は、まだ時間に余裕はあるがこのままの状況でいくとレベル4なり5なり、避難に時間がかかる人は逃

げてくださいというレベルです。まとめると、レベル3や4が出たら、皆さんのご家庭の地域事情に合わせ、声を掛け合って安全な場所へ避難してください。レベル5を待ってははいけません。

防災気象情報のうち、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報、氾濫危険情報の3つについても是非覚えてください。土砂災害警戒情報と氾濫危険情報の発信はレベル4です。土砂災害警戒情報は土砂災害の危険性が高まっている時に、氾濫危険情報は川が氾濫する危険性が差し迫っている時に発信され、記録的短時間大雨情報は、実はまだレベルが決まっていますが、ものすごい雨が降り、瞬間に低い場所が水没するような雨の降り方の時に発信されます。これら3つの情報が出たら特に危ないと思ってください。もう災害が発生しているかもしれないのです。

### 己を知る

ただ、この3つの情報(土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報、氾濫危険情報)が出たとしても、必ずしも全員逃げる必要はありません。自宅がマンションの30階にいたり、家の後ろに崖もなければ、家にいるのが一番安全です。ここが安全だと思ったら、無理に逃げずにそこに居たらいいのです。ただし、マンションの30階に居て電気が消えたり、家の前が1週間経っても冠水状態であれば、安全ではなくなります。生活できる状態が確保できてこそ、ようやく安全なのです。

崖や斜面等の近くにお住まいの方は、これらの情報が出たら早目に避難をしてください。そのときにハザードマップを活用してください。ハザードマップがご自宅にないという方がいたら、是非地域の自治体に取りに行ってください。どの地区で川が越水したらどの地区に水が来るか、津波が来たらどこまで浸水するか等が書かれています。インターネットでも見ることが出来ますが、やはり紙がいいですね。鉛筆やペンで、小さいお子さんと一緒に話を



しながら家族で確認することがすごく大切です。「ここが家やね」「避難する場所、どこかな」「この中学校に逃げなあかんね」ということを是非ご家族で話し合ってください。

### 災害からいのちを守るころ

いわゆる西日本豪雨の後に、国の防災のワーキンググループが国民に向けこのような発表をしました。「気象現象は今後更に激甚化し、いつ、どこで災害が発生してもおかしくありません。行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。(中略)行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。皆さんの命は皆さん自身で守ってください(中略)行政も、全力で、皆さんや地域をサポートします」と。我々もテレビを通じて全力でサポートします。しかし、あくまでサポートであり、最後は自分なのです。

自分の地域が危険だという情報を受け取ったら、いつもと違う何かを感じたら、それを見逃さず、周りに拡散していただきたいと思います。残念ながら、災害発生前に避難をする人はごく僅かです。情報の意味を分かっているにもかかわらず、自分だけは大丈夫、正常なはずだという思い込みの正常性バイアスが働きます。正常性バイアスを打ち破れるか否かは、信頼する身近な誰かの最後の後押しが必要となります。災害時、直接玄関に来た消防団の人や家族による「お母さん、逃げよう」などの声かけ。これを皆さんに、ぜひ行っていただきたいのです。気象関係者や行政から発信された危機感のバトン、これを皆さんが周りの人に確実に受け渡し、災害からいのちを守ってください。

災害からいのちを守るのは他の誰でもなく、地域の力、一人一人の思いやりの心です。「情報」を上手く活用し、その「ところ」を伝えていただきたいと思います。



## 2020年度公募助成イベント情報

2020年度公募助成先団体の活動予定をご紹介します。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、今後イベントの開催に変更等が生じる可能性があります。実施の有無を含め、内容等の詳細は、各団体へ直接お問い合わせください。

### 大阪YMCA ウォーターセーフティーキャンペーン

[申込:要(電話)、参加費:無料]

夏休みの水辺での活動が増える前に「着衣泳体験会」を実施します。いのちを守るためにできることをみんなで考える機会を提供します。

日時:6月14日(日)13:00~17:00(予定)  
場所:大阪YMCA  
(JRまたは大阪メトロ天王寺駅 徒歩5分)  
問合せ:公益財団法人 大阪YMCA(担当:山口)  
TEL:06-6779-8362  
URL:<https://www.osakaymca.or.jp/index.html>

### 水際レスキュー安全プロジェクト “いのちを守る行動”

[申込:要(メール)、参加費:4,000円]

方杭海岸において、水の中での緊急時の行動と連携をロールプレイングしながら、より高い技術と知識、判断力を習得します。

日時:6月29日(月)10:00~17:00  
場所:方杭海水浴場  
(和歌山県日高郡日高町方杭100番地)  
問合せ:特定非営利活動法人オーシャンゲート ジャパン  
(担当:福田)  
MAIL:[oceanate@fancy.ocn.ne.jp](mailto:oceanate@fancy.ocn.ne.jp)  
URL:<https://oceanatejapan.org/>

### グリーンケア研修会

[申込:要(メール)、参加費:2,000円]

遺族会を立ち上げる予定の方々にグリーンについての講義を行います。

日時:7月18日(土)13:30~16:30  
場所:ハートンホテル北梅田  
(大阪メトロ 中津駅 徒歩2分)  
問合せ:はすの会 東大阪・神戸  
MAIL:[hasuno-kai@hasuno-kai.org](mailto:hasuno-kai@hasuno-kai.org)  
URL:<https://hasuno-kai.org/category/higashiosaka>

## 理事長の交代について

去る2月20日、弊財団理事長の佐々木隆之が永眠いたしました。ここにあらためて故人への生前のご厚誼に深く感謝申し上げます。

このたび故佐々木隆之の後任として、来島達夫(西日本旅客鉄道株式会社 取締役副会長)が理事長に就任いたしましたのでお知らせします。



アンケート実施中

毎号、皆様からご好評いただいておりますReliefにつきまして、いつもご感想をお聞かせくださり、ありがとうございます!今号についてのご意見やご感想もお待ちしております。

(<https://www.jrw-relief-f.or.jp/enquete/>)



### 編集後記

設立10年事業として初めて開催した「小・中学生『いのち』の作文・俳句コンクール」には、大変多くの応募をいただきました。参加していただいた皆様、ありがとうございます。いずれも真剣に「いのち」に向き合った素晴らしい作品でした。(ひろ)

広報誌「Relief」 2020年4月号(vol.39)

【表紙写真:小・中学生『いのち』の作文・俳句コンクール 入賞者の集合写真】

Relief(リリーフ)には「ほっとする、安堵。安心」といった意味があります。

JR西日本あんしん社会財団は、福知山線列車事故の反省の上に立ち、設立されました。「安全で安心できる社会」の実現に少しでもお役に立てるよう、事故や災害等で被害に遭われた方々の心身のケアに関わる事業や、地域社会の安全構築に関わる事業などに取り組んでいます。

編集発行/公益財団法人JR西日本あんしん社会財団

〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目4番24号 TEL:06-6375-3202 ホームページ:<https://www.jrw-relief-f.or.jp/>

ホームページ



Facebook

